

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

国土交通省におかれましては、去る平成17年3月15日の東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内第37号踏切における死傷事故発生後、緊急対策の決定及び抜本対策である道路と鉄道の立体化に関する検討会への参画など、迅速かつ積極的なご支援、ご指導を頂き厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、四つの緊急対策のうち、歩行者通行帯の拡幅やエレベーターの新設など三つは完了いたしました。残る歩道橋の整備につきましてもこの10月に着手し、平成18年3月には完成する予定です。また、道路と鉄道の立体化に関する検討につきましても、新たな検討会を中心に国土交通省ならびに東京都のご指導をいただきながら、立体化の方法やまちづくりに関する技術的な検討を鋭意進めております。

さて、鉄道高架化に寄せる地元の思いはすでにご承知のことと存じますが、事故後、あらためて竹ノ塚駅前で開始した署名は216,993名に達しました。

鉄道高架化早期実現まで粘り強く運動を続けるため、平成17年9月30日には、地元区民で組織する「竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会」、足立区関係の全会派の国会議員、都議会議員及び区議会議員で組織する「足立区議会鉄道高架化促進議員連盟」及び足立区が一つにまとまり、「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」を結成いたしました。

また、足立区では、「竹の塚鉄道立体化資金積立基金」を設け、将来の鉄道高架の事業化に備えることといたしました。

竹ノ塚駅周辺は、足立区にとって北部の地域拠点であり、鉄道高架化に併せて都市機能の更新、地域商業の活性化を図っていきたいと考えております。

つきましては、216,993名の署名者を代表して、竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会役員から要請書を提出いたします。

あわせて、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化実現に向け、連続立体交差事業採択要件の拡充及び平成18年度連続立体交差事業調査費の採択など、ご支援いただきたくお願い申し上げます。

平成17年12月20日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長
足立区長 鈴木 恒年(印)

国土交通大臣 北側 一雄様